

2010年度自己評価の振り返り結果 ～2011年度の重点課題～

作成： 聖母被昇天学院中学校高等学校
聖母被昇天学院中学校高等学校評価委員会

中学校高等学校(以下中高と称します)の教職員に2010年度の重点目標に関する事項についてアンケートで自己評価を実施し、また保護者に対してもアンケートで評価をしていただきました。

1. 2010年度重点目標及び取り組み状況

2010年度は下記の項目に重点を置き、教育活動に取り組みました。

重点目標	取り組み状況
生徒の学力の向上	土曜講習をはじめとする学力の向上と定着 教育課程の検討と改編 進路指導部との連携 効果的な校務運営・授業運営の考察・実施 生徒データベースの構築・活用
学校内外の規律の確立	生徒心得の遵守 清掃の徹底 頭髪・服装・身だしなみ等の指導 通学指導 遅刻指導 教職員の一致した指導体制の確立
生徒相談係を中心とした支援体制の確立	特別支援チームの編成 ケース会議の開催
生徒会活動の活性化	委員会活動の活性化 生徒会組織の活発な運営 顧問会の開催
安全教育の充実	自転車・防犯などの講習 避難訓練の実施
小学校との連携	小学校と中高生徒指導関係者の情報交換 小学校と中高合同の登校指 日常生活や行事での小学校と中高の連携
夢の実現に向けてのきめ細かい進路指導	じっくり話し合う進路指導の実践 学力強化のための行事の充実 指定校推薦など大学との連携
諸教育活動の充実	人権教育・宗教行事・特別宗教活動・国際交流の充実

2. 総合的な評価結果

保護者アンケートでは授業内容の充実と学力の向上を望む意見が見られました。教師の授業力を高め生徒の学力の定着をはかっていける授業が期待されています。土曜講習（より高度な内容の講習）や寺子屋学習（補習）の実施については、中高としては充実の方向で進め、昨年度に比べ教員の評価は高まっていますが、保護者からは更なる内容の充実を求める意見が出されています。

また、学校内外の規律指導では、挨拶指導は教員より保護者の評価が高く、約80%の支持を得ています。登下校の指導については、定期的な指導をしていますが、挨拶指導ほどの評価には達していません。服装や頭髪などの指導強化の声も聞かれます。

進路指導では、進路関係の行事やじっくり話し合う指導の仕方については、保護者の前年度の評価と今年度の評価はほぼ同じで、半数弱の方が評価していますが、「わからない」と答えた方も多くおられました。指定校推薦など大学との連携については6割台の保護者が評価していますが、もっと生徒の希望に沿った進学先との提携を望む声があります。

宗教行事や特別宗教活動、国際交流行事には昨年度と同様に保護者から高い評価を得ていますが、

建学の精神やモットーの浸透には約半分強の評価に止まっています。ミッションスクールとしての精神的な面のフォローを求める意見が見られました。

《保護者によるアンケート結果》

○「わかりやすい授業」への取り組みでは、教員間の授業参観や授業力アップへの取り組みや生徒への教科指導ははかられていると思いますか？

強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	計
7	116	51	74	2	250
2%	46%	20%	29%	0%	100%

○生徒会活動・クラブ活動は活性化されていると思いますか？

強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	計
15	136	49	46	4	250
6%	54%	19%	18%	1%	100%

○登下校指導はできていると思いますか？

強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	計
17	145	38	48	2	250
6%	58%	15%	19%	0%	100%

○あいさつ指導はできていると思いますか？

強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	計
40	155	23	30	2	250
16%	62%	9%	12%	0%	100%

○指定校推薦など大学との連携は充実していると思いますか？

強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	計
37	128	30	53	2	250
14%	51%	12%	21%	0%	100%

○宗教行事・学校生活を通じて、宗教的情操やキリスト教精神は養われていると思いますか？

強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	計
21	164	29	35	1	250
8%	65%	11%	14%	0%	100%

○フィリピン・フランスなどの海外の姉妹校生徒との国際交流が活発に行われていると思いますか？

強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	計
34	172	22	20	2	250
13%	68%	8%	8%	0%	100%

○配布プリントなどを通じて、必要な情報が保護者へ迅速・適正に伝えられていると思いますか？

強く思う	思う	思わない	わからない	無回答	計
17	161	42	29	1	250
6%	64%	16%	11%	0%	100%

《保護者アンケート自由記述》

- ・漢検・英検等積極的に取り組んで頂き、有り難い。英語は小テスト等が頻繁にあり、力が付いてきている。
- ・土曜講習に英語と数学を増やしてほしい。

- ・成績の中位者のフォローにも力を入れて頂きたい。
- ・放課後の補習など、生徒が出やすいように配慮してほしい。
- ・入学以来、充実した学校生活を過ごす事ができていて、ありがたく感謝している。親にも学校行事などに参加の機会が度々あり、普段の様子が分かるのもうれしい。先生方には学内の雑事に追われる事なく、よりおもしろい授業・解る授業の研修等に時間をとって頂きたい。それが一番学校を輝かせると思う。魅力ある授業をお願いします。
- ・進路を選択する上で、学部別の個々の情報や将来の職種選び等にどの学部が適しているのかを中学校段階から指導して頂き、早く目標を持てるようにしてもらいたい。
- ・勉強面で力を入れているところは分かるが、生活面・学院のモットーが欠けてきていて、不安に思う。人間設計の大切な高校生活で学院の方向性が変わってしまっているのが残念だ。
- ・夏休み等に学校斡旋の海外ホームステイ等があると良い。(フィリピンやフランスではなく英語習得の語学研修。中二のブリティッシュは短すぎる。3～4週間を望む)
- ・女子教育として華道・茶道や礼儀作法を学ぶ時間があればと思う。
- ・小学校と中高の交流がもっと活発になればと思う。

3. 今後取り組むべき課題

授業やその他の学習活動に対する評価が半数の保護者の方の理解を得つつも、あと半数の方の支持を得ていない状況からすると、学習活動への取り組みを強化し、保護者に提示していく必要があります。「土曜講習」や「寺子屋学習」は教員の多くが評価をしていますが、それが保護者から十分理解を得られていない状況があり、前年に引き続いて内容・時間などの充実を目指し、保護者への理解を深める努力を行います。教員の授業指導力の向上や「わかりやすい授業」への取り組みに関しては、さらに教員間で授業参観や教科内での研修を通して充実をはかります。

校内や校外でのマナーやルールの遵守、登下校での態度は悪くないが明確に良いとは言えないという保護者の評価がされています。マナーやルールを守れるように指導するとともに、意識の向上に取り組めます。挨拶指導も保護者や来校者にも必ず挨拶ができるように指導を徹底いたします。

進学指導は、生徒のニーズにあった、生徒の行きたい大学等との連携を深め、指定校枠を拡大することに努めます。また生徒が進路を考えるための情報や学校紹介などガイダンス活動を充実させます。

人権教育・宗教行事・特別宗教活動・国際交流はカトリック学校として、生徒の人格形成に資する活動を行い、ミッションスクールとしての学校の特色を発揮するよう努めます。

4. 学校関係者評価

- (1) 重点目標達成に向け、学習指導・生活指導・進路指導において、生徒一人ひとりに対するきめ細かい取り組みが行われている。
- (2) 学院の教育理念を土台とし、人権教育・宗教行事・特別宗教活動・国際交流行事を通じて、視野を広げ、キリスト教的価値観を身につけるような取り組みが行われている。
- (3) 教育活動の取り組みについて、外部（特に保護者）への情報発信が望まれる。
- (4) 今後より一層、取り組みを深めるための研究と実践を継続していくことを期待する。